



埼玉県 獣医師会 会報

第 604 号

平成26年 2 月20日編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645) 1 9 0 6
F A X 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 高 橋 三 男
編集責任者 三 森 信 行
印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記 事 の 内 容

埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念

- 新春懇談会の開催…………… 1
狂犬病不活化ワクチンの有効期間延長及び
シードロット化について……………20
韓国における高病原性鳥インフルエンザの
発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底
について……………21

予告

- 西支部学術講習会のお知らせ……………22

ひろば

- (公社)埼玉県獣医師会主催ボウリング大会の
開催……………22
新入会員の抱負……………25
北支部・八日会合同学術研修会開催報告 ……25
平成25年度東支部新年会開催報告……………25

切り抜きニュース

- 平成24年度獣医関係大学卒業者の就職
状況調査（農林水産省）……………26
○犬、猫10匹以上は届け出
一県条例改正など56議案提案へ……………27
○ペットにまつわる節約（前編）
一ペット保険について……………27
○新手法で「万能細胞」
一理研、マウス使い成功……………28

埼玉県獣医師会学術広報版 ……29

事務局より

- 事務局メモ……………31

編集後記 ……32

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念 新春懇談会の開催

平成26年2月6日（木）午後1時15分から、さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」を会場にして埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念新春懇談会が盛大に開催されました。

この懇談会は、埼玉県獣医師会が昨年4月に公益社団法人に移行したことを記念して第一部が記念講演会、また、第二部は交流会として開催しました。

関係する方々にも本会の活動への理解を深めていただこうと多くの御来賓をお招きしたところ、御来賓と会員を合わせて260名もの皆様の参加を頂きました。



主催者を代表して記念講演で挨拶をする高橋三男会長

多くの参加をいただいた記念講演

第一部 記念講演会

記念講演は、講師に藏内勇夫日本獣医師会会長と辻本元東京大学大学院教授・附属動物病院センター長をお招きし、新井宣明学術委員長（さいたま市支部）の司会で進められました。

(1) 会長あいさつ

開会にあたり高橋三男会長が「一般社団法人として歴代会長五人、65年を経て、昨年4月に公益社団法人に移行することができ事業も順調に推移している。これからも過去に感謝し未来に夢を抱きながら歩んでいきたい。」と挨拶し、講師2名を紹介しました。

講師の経歴は次のとおりです。

藏内勇夫先生は、福岡県の出身で昭和54年に日本大学農獣医学部獣医学科を卒業。臨床獣医師、国会議員秘書を経て、昭和62年には福岡県議会議員に初当選し以後7期連続当選、福岡県議会議長も歴任。平成22年3月には九州大学大学院に於いて農学博士の学位取得。日本獣医師会では、理事8年、副会長8年を務め、平成25年6月に第12代日本獣医師会会長に就任。日本医師会会長と学術に関する協定を締結するなど、今後の活躍が期待されている。

また、辻本元先生は、東京大学農学部獣医学科を卒業し、現在は、東京大学大学院教授として内科学を学生に指導。同大学附属動物医療センター長として各診療科を取りまとめる傍ら自らも診療に携る。日本獣医内科学アカデミーを立ち上げ、実行委員長を務める。日本小動物獣医学会副会長。

なお、東京大学附属動物医療センターは、内科や外科など14分野から構成され、2次診療機関として年間1万4千頭を対象に高度獣医療を提供している。獣医系大学の無い本県にとって、2次診療機関としての活用が期待される。

(2) 講演

日本獣医師会会長の藏内勇夫先生には、「獣医師会の目指すべき方向 ― 会員と構成獣医師と共に歩む日本獣医師会に期待を―」と題して講演をお願いしました。

講演内容

- 日本国及び国民の負託に応えられる獣医師であることが肝要である。そこで、獣医師会の役割は、知識・技術を身に付けた獣医師を育て世に送り込むことと、また、獣医師が社会の中で生きがいをもって能力を発揮できるようにすることである。
- そのためには、日本獣医師会は、ビジョン、ミッションを明確にした上で、グランドデザインを描き、そのロードマップを提示しなければならないと考えている。
- 獣医師会全体がスキルアップしなければならないとの思いから「歩むべき方向」を11項目にまとめた。
 - 1) 獣医療提供体制の整備と充実に向けて開業制度の在り方と開業ガイドラインの検討
 - 2) 狂犬病予防法に基づく適正なワクチン接種とその接種率の向上、並びにマイクロチップ装着の推進
 - 3) 獣医師養成機関である全国獣医系大学の教育環境の整備支援
 - 4) 家畜防疫業務の堅持
 - 5) 新規獣医師の適正配置による分野別及び地域別就業の偏在の解消
 - 6) 獣医療施設内における勤務獣医師の処遇改善と動物看護師の職務確立
 - 7) 女性獣医師の活躍の支援と勤務環境の改善、特に職務と子育てを両立し継続的に働ける職場の確保
 - 8) 構成獣医師の確保と会員構成率の向上
 - 9) 高度専門職能集団としての活力並びに組織力の向上
 - 10) 獣医学術の振興と普及、構成獣医師の資質向上
 - 11) 地方獣医師会と日本獣医師会の連携強化
- 「歩むべき方向」を推進し達成するには日本獣医師会と地方会が協働すること、すなわち、情報を共有し共に行動することが大切であり、そのために組織体制を整備した。
 - ① 公益性と政治とを両立し課題解決に努めるため、日本獣医師政治連盟委員長と日本獣医師会会長の職を分離した。
 - ② 日本獣医師会と地方会は運命共同体であることから、地方の声を日本獣医師会の運営に活かすため、全国獣医師会会長会議に常設正副議長を設置し全国会議の活性化を図ることとした。議長には高橋三男埼玉県獣医師会会長に就任いただいた。



講演する藏内勇夫
日本獣医師会会長

- ・ 特に、スピード感をもって解決に取り組むべき課題については、次の委員会を立ち上げた。
 - ①狂犬病予防体制整備特別委員会
 - ②女性獣医師支援特別委員会
 - ③日本医師会との連携推進委員会
- ・ 地元、福岡県での取組として、勤務獣医師の地位向上に関する国への意見書を福岡県議会に提出した。地方会には、公務員の処遇改善及び動物看護師の確立に関して運動してもらいたい。

続いて、東京大学大学院教授の辻本元先生から「症例と飼い主のための大学動物医療センターの活用」と題して、大学病院と開業動物病院との連携について講演をお願いしました。

講演内容

- ・ 内科系の卒後教育、学部教育、専門医教育を充実させることを目的に日本獣医内科学アカデミーを設立し、学術大会を開催している。
 - ・ 専門医は欧米で急速に進歩し、我が国でも各分野で500～1000人程度が活躍している。
 - ・ 全ての診療分野を担当するホームドクターにとって、高度化した医療全てを担うには無理があり、症例によっては専門診療機関を紹介することになる。
 - ・ 医療の高度化に伴い、紹介を受け入れる専門診療機関が増えつつあり、1次診療機関と連携しながら治療を進めている。関東圏には5つの大学を含め専門医療機関が多く存在するので活用してもらいたい。
 - ・ 東京大学附属動物医療センターは、内科、外科、眼科などの診療科と、画像診断部や病理検査部などの検査部門から構成され、提供する診療が国際標準を満たすことを課題としている。
 - ・ 専門診療機関を紹介する際は、どのような症例をどの診療機関に紹介するかが極めて大切であり、紹介先の専門診療機関の内容を承知しておく必要がある。
- そこで、附属動物医療センターの内科の診療内容について紹介する。
- 第一内科（神経・内分泌科）；神経脳疾患脊髄疾患、壊死性髄膜脳炎、内分泌副腎甲状腺など
 - 第二内科（消化器内科）；胃腸疾患、肝胆道系疾患、膵臓疾患、蛋白漏出性腸症、肝炎など
 - 第三内科（血液腫瘍内科）；血球減少症、リンパ腫、肥満細胞腫
- ・ 東京大学附属動物医療センターは、伝統のある獣医教育病院であり、充実した臨床、教育、および研究を推進することによってAsian leaderになりたいと考えているので、開業の先生方と協力し、より良い臨床を目指したい。



講演する辻本元東京大学
大学院教授

(3) 閉会

八木賢裕狂犬病予防委員長（東支部）が講師への御礼と聴講者への感謝を述べ、午後2時20分に閉会しました。

第二部 交流会

交流会は、午後2時30分から埼玉県知事上田清司様をはじめ、多くの御来賓をお迎えし、総務委員会の三森信行委員長（西支部）と金子素奈緒委員（南第一支部）の司会により進行されました。

(1) 会長挨拶



交流会で挨拶をする高橋三男会長

中村滋副会長が開会の辞を述べた後、高橋会長が挨拶に立ち、公益法人移行後の事業運営が順調に推移していることに御礼を述べた上で、次のとおり挨拶しました。

埼玉県獣医師会は、日本獣医師会の御指導のもと、昨年4月1日に公益社団法人として新たなスタートを切ることができました。

埼玉県獣医師会の活動につきましては、お手元に配布させていただきました「会報 第603号」の冒頭で、本年の抱負を述べさせていただいているので、後ほど、お目通しいただければ幸いです。

本日は、2点についてお話させていただきたいと存じます。

まず一点目ですが、今や、獣医師や獣医師会の果たす役割とその期待は、広範囲に及んでおります。

埼玉県獣医師会の発足当時は、戦後間もない頃で、食料が不足し、朝、昼、夜の3食の食事にも事欠く時代でありました。良質なタンパク質を安定的に供給することが国策であり、獣医師にとって畜産振興が最も重要な使命でありました。

埼玉県獣医師会発足から65年が経過した今、社会生活環境の変化とともに、獣医師の役割も大きく広がってまいりました。

県においては、農林部、保健医療部、環境部、教育局と多岐に渡り、昨今では「畜産物の安定的供給」に加え、「食の安全・安心」や「野生鳥獣の保護」、「学校動物飼育」、さらには「墓地埋葬に関する指導」など、獣医師の職域は多岐に渡っております。

このような中で、獣医師会の活動が公益法人として認定されましたことは誠に意義深く、また、その責任の重さを痛感しております。

二点目としては、狂犬病予防対策についてであります。

明日、ロシアのソチで冬季オリンピック・パラリンピックが開幕します。一昨日の報道によりますと、取材に訪れていたTBSのスタッフが犬に太腿を咬まれ出血し、現地の病院で狂犬病の感染を防ぐため2本の注射を受けた上で、帰国後は直ちに日本の病院を受診することを指示されたとのことでした。

開会の辞を述べる
中村滋副会長

ロシアは、もとより狂犬病の汚染国であり、テレビでは放し飼いの犬の群れが放映され、この様な状況に私は改めて危機感を抱きました。

2020年には東京でオリンピックが開催されます。獣医師会といたしましても、海外からのお客様を安心してお迎えできるように衛生面の環境整備にも最大限の努力をしてみたいと思います。

日本では、「狂犬病予防法」により昭和32年以降、狂犬病の発生がない清浄国となっております。

海外では、狂犬病に感染し命を落とす人が厚生労働省の報告では10分間に1人と言われる中、治療法のない狂犬病に対し清浄性を維持するには、犬への予防接種が唯一の方法と確信しております。

また、昨年11月20日には日本獣医師会の藏内会長と日本医師会の横倉会長とが、狂犬病など、人と動物の共通感染症対策について学術面で提携するとの協定を締結しました。公益法人だからこそ成し得た新たな取組でもあります。

特に、第一線を担当される市町村の皆様方には、清浄国であるがゆえに狂犬病の予防接種の意義が大きいことを再認識いただき、御理解賜りたいと存じます。

私達、埼玉県獣医師会は、今後とも、人と動物が共生した社会の確立のため「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い」をモットーに県民の暮らしに役立つ、公益法人にふさわしい活動を展開していきたいと願っております。

どうか皆様方におかれましては、獣医師会の活動に深い御理解を頂くとともに、なお一層の御支援・御協力をお願い申し上げ、主催者としての挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(2) 感謝状の贈呈

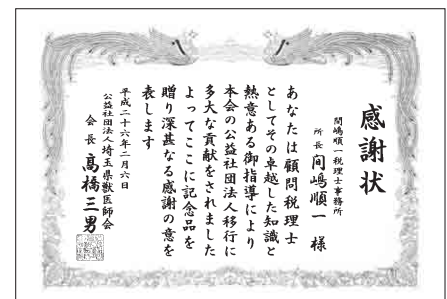
埼玉県獣医師会が公益法人に移行するにあたり、公益法人認定のための諸手続きや会務運営に関して適切な御指導を頂き、円滑な移行に多大なる御尽力を賜りました次の方々に高橋会長から感謝状が授与され、記念品と花束が贈呈されました。

《感謝状を贈られた方々》

間嶋順一税理士事務所 所長 間嶋順一 様
土屋総合法律事務所 代表弁護士 高谷進 様
古川博章行政書士事務所 代表 古川博章 様



高橋三男会長から感謝状を授与された方々
左から 高橋三男埼玉県獣医師会会長、顧問税理士の間嶋順一様、
顧問弁護士の高谷進様代理の鶴田進様、
公益法人アドバイザーの古川博章様、上田清司埼玉県知事



間嶋順一様に授与された感謝状

(3) 講師への記念品の贈呈

また、記念講演で講師を務められた藏内勇夫日本獣医師会会長と辻本元東京大学大学院教授には、大変お忙しい中、貴重なる御講演を賜りましたことに感謝し、高橋会長から記念品が贈られました。

(4) 来賓の祝辞

御出席を頂いた多くの御来賓の中から、次の方々に御祝辞を頂きました。

《埼玉県知事 上田清司様の御祝辞》

公益社団法人移行記念新春懇談会が、藏内勇夫日本獣医師会会長、松本恒夫県議会副議長をはじめ多くの県議会議員の皆様、土屋品子厚生労働副大臣をはじめとする国会議員の皆様、さいたま市の萩原議長をはじめとする市議会議員の皆様、そして、木下さいたま市副市長、大野桶川市長、また、松永商工会議所連合会会長をはじめ多くの御来賓をお迎えして、開催されることを心からお慶び申し上げます。

日頃、高橋三男会長をはじめ、埼玉県獣医師会の先生方には、公衆衛生、人と動物の共生、様々な感染症対策に格段の御尽力をいただいております、改めて厚く御礼申し上げます。

埼玉県獣医師会の皆様大変お世話になっている浦和競馬場は、知事就任当時は赤字でしたが、現在では累積赤字も解消しており、利益が出ている競馬場は大井競馬と浦和競馬だけで、経営状態は全国的にも優れています。これも、馬の健康管理に御尽力いただいている獣医師のお陰です。

今や、人と動物の共生は極めて重要な課題となっています。昨日、牧原秀樹環境大臣政務官が来庁し、犬猫の殺処分頭数が一番少ない本県の実況を、先進事例として視察しました。行政には、ペットを家族と同様に扱うことへの対応が迫られており、今後は、人と動物の共生のために、あらゆる配慮をしなければならず、獣医師会の役割も大きくなってきていると感じています。

引き続き、高橋会長をはじめ、埼玉県獣医師会の先生方には、幅広い観点から本県の人と動物の健康と共生に様々な施策をお願いするとともに、行政に対しても適切なアドバイスをいただけるよう心から念願し、お祝いの挨拶に代えさせていただきます。



埼玉県知事 上田清司様

《埼玉県議会副議長 松本恒夫様の御祝辞》

公益社団法人移行記念新春懇談会の開催にあたり埼玉県議会を代表しお祝いの言葉を述べます。

埼玉県獣医師会が昭和24年2月に社団法人として発足以来、会員の皆様には、動物愛護の普及・啓発、自然環境の保全、人と動物の共通感染症対策などの活動を通じ、県民生活の向上に多大な貢献をされてきました。高橋会長をはじめ皆様の日ごろの御尽力に心から感謝申し上げます。

人は古くから動物と共生し密接な関係を築いてきました。現在も家族の一員としてペットとともに暮らすなど、私たちの生活に欠かせない存在となっています。このように私たちの健やかな暮らしと豊かな心は、多くの動物たちに強く支えられています。

このため、動物の健康管理や飼育相談に活躍する獣医師の皆様や、獣医師業務の先導的立場にある獣医師会の役割は大変重要だと言えます。

県議会としては、動物の命を尊重し人と動物が真に共生できる社会の実現に全力で取り組むので、皆様には、一層の御支援と御協力をお願いします。公益社団法人埼玉県獣医師会の益々の発展と皆様の御健勝・御活躍を心から祈念します。



埼玉県議会副議長
松本恒夫様

《清水勇人さいたま市長代理、副市長 木下達則様の御祝辞》

清水勇人さいたま市長の祝辞を代読していただきました。清水市長の祝辞は次のとおりです。

本日は、埼玉県獣医師会の公益社団法人への移行を祝う式典が上田清司埼玉県知事並びに国会議員、県議会、市議会の皆様をはじめ多くの御来賓を迎え盛大に開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。

伝統ある埼玉県獣医師会の長年に渡る活躍が認められ公益社団法人として新たな一步を踏み出されたことは、高橋会長をはじめ会員の皆様の並々ならぬ努力と御尽力の賜物であると深く敬意を表する次第です。

また、皆様には、狂犬病予防注射の実施をはじめ、動物愛護事業、災害対策など幅広く協力をいただいていることに厚く御礼申し上げます。

昨年施行された動物愛護管理法において、動物の終生飼養の考え方が明記されるなど、人と動物を取り巻く環境は転換点を迎えています。獣医師の皆様が携る活動は、動物愛護、家畜衛生、公衆衛生など幅広く、人や動物の健康を守るために欠かすことができません。今後の更なる活躍により人と動物が共存・共生する地域社会の創造、発展につながることを期待します。

さいたま市としても市民に住み易い、住み続けたいと感じていただき、市外からもさいたま市に住みたいと思える魅力ある都市になることが必要と考えています。このため、さいたま市の強みを生かした成長戦略を着実に実施するとともに、市民満足度の高い高品質経営市役所への転換を図り、幸せ実感都市、選ばれる都市の実現のために全力で取り組むので、一層の御支援、御協力をお願いします。

新たな門出を迎えた埼玉県獣医師会の発展と会員の皆様の御健勝・御活躍を心から祈念します。



さいたま市長の祝辞を頂いた副市長
木下達則様

《日本獣医師会会長 藏内勇夫様の御祝辞》

本日は、埼玉県獣医師会の記念すべき式典で講演させていただき、高橋会長をはじめ埼玉県獣医師会の皆様に御礼を申し上げます。

日本獣医師会は、国家、国民の期待に応える獣医師を育て社会に送り出すことが役割であるが、多くの課題も抱えています。これらの課題は行政や議会の支援と理解が無ければ解決することができないので、関係の皆様方にはよろしくお願いします。

課題の一つとして公務員獣医師の不足の問題がございます。この問題に対しては、獣医師の処遇を改善することが肝要との考えに基づき、私の地元の九州各県議会議長にお願いし、7月の全国県議会議長会において処遇改善に関する意見書を採択してもらうこととしました。ついては、埼玉県議会の皆様にも御支援をお願いします。

また、日本医師会を含めて多くの団体との交流を深め、人と動物の健康を守るために努力していきたいと考えております。そのため、適時適切な情報を日本獣医師会から地方会に提供していくこととし、昨年8月からはメルマガを発信しているので是非ご覧ください。

埼玉県獣医師会が、一層、県民の負託に応え、高橋全国獣医師会会長会議常設議長をはじめ埼玉県獣医師会の皆様が、益々、発展することを祈念します。

《東京大学大学院教授 辻本元様の御祝辞》

社会で活躍する獣医師を育てることが大学の使命です。ソウル大学では、米国やヨーロッパに目を向け、今年度、米国獣医師会の認証を得るための査定を受け、認証されれば世界に認められたアジアで最初の大学

となります。我が国は、国際化を目指す韓国やタイに遅れを取っており、獣医学教育を良くしていくためには、小手先の対応ではなく、日本獣医師会と大学とが協力することが大切です。

本日は多くの方々と交流できるので将来の大学について意見を交わし、今後の獣医学教育に活かしていきたいと思います。

公益法人移行を契機に学会や大学と埼玉県獣医師会とが協力し、日本全体の活性化に結び付くことを期待します。

(5) 乾杯

乾杯は日本獣医師会学術担当理事で前日本大学総長の酒井健夫様をお願いしました。酒井理事は「公益社団法人への移行、誠にありがとうございます。埼玉県獣医師会の多くの方々には、日本獣医師会の委員会等で大変世話になっており感謝します。埼玉県獣医師会の益々の御発展と皆様方の御健勝を祈念します。」と述べられ、大きく乾杯し、賑やかに懇談が進められました。



日本獣医師会理事 酒井健夫様の音頭による乾杯

(6) 来賓の御紹介と御挨拶

《国會議員の御紹介》

御出席の国會議員の先生方にそれぞれ自己紹介と挨拶をお願いしました。

御出席された国會議員の先生方（選挙区順）

衆議院議員	村井 英樹	様(埼玉1区)
衆議院議員	新藤 義孝	様(埼玉2区)
衆議院議員	黄川田仁志	様(埼玉3区)
衆議院議員	豊田真由子	様(埼玉4区)
衆議院議員	中根 一幸	様(埼玉6区)
衆議院議員	神山 佐市	様(埼玉7区)
衆議院議員	柴山 昌彦	様(埼玉8区)
衆議院議員	山口 泰明	様(埼玉10区)
衆議院議員	野中 厚	様(埼玉12区)
衆議院議員	土屋 品子	様(埼玉13区)
衆議院議員	三ツ林裕巳	様(埼玉14区)
衆議院議員	田中 良生	様(埼玉15区)

衆議院議員	武正 公一	様(比例区)
衆議院議員	牧原 秀樹	様(比例区)
衆議院議員	大島 敦	様(比例区)
衆議院議員	小宮山泰子	様(比例区)
衆議院議員	今野 智博	様(比例区)
衆議院議員	興水 恵一	様(比例区)
参議院議員	関口 昌一	様(埼玉選挙区)
参議院議員	古川 俊治	様(埼玉選挙区)
参議院議員	西田 実仁	様(埼玉選挙区)
参議院議員	大野 元裕	様(埼玉選挙区)
合計 22 名		



国会議員の紹介

左から、武正公一様、三ツ林裕巳様、
村井英樹様左から、村井英樹様、今野智博様、
神山佐市様

左から、古川俊治様、牧原秀樹様

左から、黄川田仁志様、土屋品子様、
武正公一様

《国会議員の御祝辞》

厚生労働副大臣 衆議院議員 土屋品子様

このたびの公益社団法人への移行、おめでとうございます。

厚生労働省と獣医師会の皆様との関係は深く、獣医師には輸入肉の安全確保や渡り鳥が伝播するインフルエンザの監視などに関わっていただき、皆様の御尽力により安心安全が守れています。

また、高齢化が進む中でセラピー犬の導入が進んでくると、家庭内での扱い方や衛生管理が今後の課題となり、このような面でも皆様の指導が必要になります。今後とも、厚生労働行政に皆様の御支援をお願いします。

続いて、獣医師会と医師会との連携強化が課題となる中、医療・獣医療に関係の深い国会議員として、医師でもある参議院議員古川俊治様と衆議院議員三ツ林裕巳様が紹介され、代表して古川俊治様に御挨拶をお願いしました。

厚生労働副大臣 衆議院議員
土屋品子様

自由民主党獣医師問題議員連盟 参議院議員 古川俊治様
公益社団法人への移行、誠におめでとうございます。

私は、日本獣医学会で人と動物の共通感染症について講演したこともあるが、今後、インフルエンザなど強毒で感染力の強い共通感染症が人類の脅威となる。これらの予防やサーベイランスに当たっては、獣医師と医療界が手を組み国民の健康を守る努力が必要です。また、新しい医療技術は、動物で開発を進めることで、人への応用につながってくると考えています。

今後とも、国民の健康のために獣医療と医療との連携に努力してまいります。



参議院議員 古川俊治様(左から2人目)
右は、衆議院議員 三ツ林裕巳様

《埼玉県議会議員の紹介》

御出席の埼玉県議会議員の先生方にそれぞれ自己紹介と御挨拶をお願いしました。

御出席された埼玉県議会議員の先生方（選挙区順）

- 蒲生 徳明 様（南第1区；草加市）
- 鈴木 弘 様（南第4区；さいたま市北区）
- 高木 真理 様（南第4区；さいたま市北区）
- 井上 将勝 様（南第6区；さいたま市見沼区）
- 田村 琢実 様（南第6区；さいたま市見沼区）
- 宮崎栄治郎 様（南第10区；さいたま市南区）
- 小島 信昭 様（南第12区；さいたま市岩槻区）
- 佐藤征治郎 様（南第12区；さいたま市岩槻区）
- 中屋敷慎一 様（南第16区；鴻巣市（旧鴻巣市、旧吹上町））
- 西山 淳次 様（西第1区；所沢市）
- 中野 英幸 様（西第8区；川越市）
- 松本 恒夫 様（西第15区；滑川町、嵐山町、小川町、鳩山町、ときがわ町）
- 竹並 万吉 様（北第4区；本庄市）
- 諸井 真英 様（東第2区；羽生市）
- 柿沼トミ子 様（東第4区；加須市（旧騎西町、旧北川辺町、旧大利根町）、鴻巣市（旧川里町））
- 石井 平夫 様（東第6区；蓮田市）
- 岡 重夫 様（東第7区；久喜市（旧菖蒲町）、白岡市、宮代町）
- 佐久間 実 様（東第8区；春日部市（旧春日部市））
- 白土 幸仁 様（東第8区；春日部市（旧春日部市））
- 枝久保喜八郎様（東第13区；幸手市）

合計 20 名



埼玉県議会議員の紹介



松本恒夫県議会副議長



蒲生徳明様（中央）



鈴木 弘様



左から、柿沼トミ子様、高木真理様



左から、井上将勝様、白土幸仁様



宮崎栄治郎様



小島信昭様 (左)



西山淳次様



左から、石井平夫様、諸井真英様、
佐藤征治郎様、田村琢実様



竹並万吉様



岡 重夫様 (左)



佐久間実様



枝久保喜八郎様



中屋敷慎一様



中野英幸様

《さいたま市議会議員の紹介》

御出席のさいたま市議会議員の先生方にそれぞれ自己紹介と御挨拶をお願いしました。

御出席されたさいたま市議会議員の先生方（選挙区順）

上三信 彰 様（西 区）
 関根 信明 様（北 区）
 新藤 信夫 様（大宮区）
 坂本 克己 様（桜 区）
 青羽 健仁 様（浦和区）
 萩原 章弘 様（南 区）

桶本 大輔 様（南 区）
 神崎 功 様（緑 区）
 野呂多美子 様（岩槻区）
 江原 大輔 様（岩槻区）
 高野 秀樹 様（岩槻区）
 吉田 一志 様（岩槻区）

計 12名



さいたま市議会議員の紹介



萩原章弘市議会議長（中央）



青羽健仁様



関根信明様（左）、新藤信夫様（右）



神崎 功市議会副議長(右)、左は萩原章弘議長



桶本大輔様 (左)、上三信彰様 (右)



左から、坂本克己様、高野秀樹様、野呂多美子様、吉田一志様



吉田一志様 (左)、江原大輔様 (右)

《桶川市長 小野克典様の御祝辞》

公益社団法人移行記念新春懇談会が盛大に開催されましたことに心よりお祝い申し上げます。

埼玉県獣医師会の皆様には、日頃から、狂犬病予防注射はもとより、動物福祉、動物愛護、畜産、生活衛生など多岐にわたり、動物行政に御尽力と御指導いただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

私は、埼玉県議会議員の当時は「動物と共生する社会を推進する議員連盟」に所属し副会長も務めていたこともあり、昨年5月に埼玉県と埼玉県獣医師会とが「災害時における愛護動物の救護活動に関する覚書」を締結したと聞き、大変嬉しく思います。

桶川市では公園へのペット持ち込みが禁止されていたが、今ではペットは掛け替えの無い家族となっていることから、来年度からペットの持ち込みを可能にしました。動物と共生する社会の実現のためには埼玉県獣医師会の支援なくしては実現しないので、今後とも動物行政に対して力添えと御指導をお願いします。

埼玉県獣医師会の益々の発展と皆様の御健勝を祈念し挨拶とします。



桶川市長 小野克典様

(7) 来賓の御挨拶

引き続き、次の御来賓から御挨拶を賜りました。

加須市副市長 角田守良様



埼玉県商工会議所連合会会長 松永功様



さいたま観光国際協会会長 清水志摩子様



さいたま市教育委員会教育長 稲葉康久様



埼玉県農林部長 高山次郎様



群馬県獣医師会会長 木村芳之様



御挨拶を頂いた方以外にも、政財界から多くの御来賓に御出席賜り、会場では会員や来賓が交流を深めておりました。



交流を深める皆様

御出席いただいた御来賓は次のとおりです。(順不同)

埼玉県知事	上田 清司 様
埼玉県議会副議長	松本 恒夫 様
埼玉県議会福祉保健医療委員長	
	諸井 真英 様
さいたま市長清水勇人様代理副市長	
	木下 達則 様
さいたま市議会議長	萩原 章弘 様
日本獣医師会会長	藏内 勇夫 様
日本獣医師会学術担当理事	
	酒井 健夫 様
東京大学大学院教授	辻本 元 様
茨城県獣医師会会長	小林 貞雄 様
千葉県獣医師会会長	山根 晃 様
千葉県獣医師会参与	広瀬 修 様
東京都獣医師会会長	村中 志朗 様
群馬県獣医師会会長	木村 芳之 様
日本獣医師会専務理事	矢ヶ崎忠夫 様
日本獣医師会事務局長	古賀 俊伸 様
埼玉県農林部長	高山 次郎 様
埼玉県農林部畜産安全課長	
	梅澤 正親 様
埼玉県保健医療部生活衛生課長	
	黒崎 嘉子 様
埼玉県保健医療部食品安全課長	
	伊藤 誠一 様

埼玉県環境部みどり自然課長	
	脇坂 純一 様
埼玉県東松山農林振興センター所長	
	北野 俊明 様
埼玉県中央家畜保健衛生所所長	
	金子 文男 様
埼玉県川越家畜保健衛生所所長	
	中島 一郎 様
埼玉県熊谷家畜保健衛生所所長	
	金子 保之 様
埼玉県農林総合研究センター畜産研究所長	
	鴻巣 泰 様
埼玉県秩父高原牧場長	鉢須 桂一 様
埼玉県食肉衛生検査センター所長	
	橋本 勝弘 様
埼玉県動物指導センター所長	
	久保 忠直 様
さいたま市教育委員会教育長	
	稲葉 康久 様
さいたま市保健福祉局局長	
	大塔 幸重 様
さいたま市動物愛護ふれあいセンター所長	
	秋山 稔 様
桶川市長	小野 克典 様
加須市副市長	角田 守良 様

吉川市環境課長 増田 典道 様
 小川町環境保全課長 尾崎 俊昭 様
 鴻巣市環境課 染谷 忍 様
 土屋総合法律事務所顧問弁護士 鶴田 進 様
 土屋総合法律事務所顧問弁護士 高橋 謙治 様
 間嶋順一税理士事務所所長顧問税理士 間嶋 順一 様
 公益法人アドバイザー古川博章行政書士
 事務所 代表 古川 博章 様
 埼玉県農業共済組合連合会会長 小森谷武雄 様
 埼玉県畜産会副会長 青木 雄治 様
 埼玉県肉用牛経営者協会会長 植井 敏夫 様
 埼玉県商工会議所連合会会長 松永 功 様
 さいたま観光国際協会会長 清水志摩子 様
 シモゾノ学園国際動物専門学校大宮国際動物専門学校理事長 下藺 恵子 様
 ホテルヘリテイジリゾート代表取締役社長 杉田 憲康 様
 埼玉りそな銀行執行役員埼玉営業本部長 中野 真治 様
 埼玉りそな銀行さいたま営業部部長 江河 雅浩 様
 埼玉りそな銀行さいたま営業部営業第二部長 井古田晃伸 様
 武蔵野銀行専務取締役 石川 誠 様
 武蔵野銀行地域サポート部部長 一柳 幸男 様
 埼玉新聞社代表取締役社長 小川 秀樹 様
 テレビ埼玉常務取締役 福島 勤 様
 テレビ埼玉プランニング営業部長 岩崎 武 様
 化学及血清療法研究所理事長・所長 宮本 誠二 様
 (株)微生物化学研究所代表取締役社長 長江 千代 様

松研薬品工業(株)代表取締役 松岡 研司 様
 共立製薬(株)関東営業所所長 飯田 裕一 様
 共立製薬(株) 倉橋 孝裕 様
 テルモ(株)埼玉支店支店長 船越 浩之 様
 (株)インターベットコンパニオンアニマル 事業部長 近藤 昌弘 様

賛助会員等

アクティ(株)専務取締役 降旗 弘雄 様
 アクティ(株)さいたま営業所所長 金子 顕 様
 アクティ(株)さいたま営業所営業課長 山崎 克明 様
 アクティ(株)さいたま営業所営業課長 島崎 章 様
 (株)アスコC A担当取締役 周藤 耕二 様
 (株)アスコ東日本支店副支店長 相川 富男 様
 (株)アスコ大宮営業所副所長 金子 幸弘 様
 森久保薬品(株)取締役営業部長 高崎 正好 様
 森久保薬品(株)埼玉・三郷事業部事業部長 鈴木登志夫 様
 森久保薬品(株)埼玉事業部部長代理 小林絵梨子 様
 日本全薬工業(株)営業推進本部C A事業部 野田事業所所長 江藤 耐 様
 日本全薬工業(株)営業推進本部C A事業部 埼玉事業所所長 小川 勝 様
 三和メディカル(株)取締役会長 板橋 利男 様
 (株)武蔵野ペット霊園代表取締役 山川 勝弘 様
 (株)アサヒコミュニケーションズ会長 新井 正敏 様

(8) 祝電の披露

司会者より、次の皆様方から頂いた祝電・メッセージが披露されました。(順不同)

厚生労働副大臣衆議院議員

土屋 品子 様

衆議院議員 枝野 幸男 様

参議院議員 関口 昌一 様

参議院議員 大野 元裕 様

埼玉県議会議員 加藤 裕康 様

埼玉県市長会会長久喜市長 田中 暄二 様

加須市長 大橋 良一 様

秩父市長 久喜 邦康 様

深谷市長 小島 進 様

鴻巣市長 原口 和久 様

東松山市長

北本市長

毛呂山町長

神奈川県獣医師会会長

埼玉県医師会会長

埼玉りそな銀行代表取締役会長

埼玉りそな銀行代表取締役社長

武蔵野銀行頭取

森田 光一 様

石津 賢治 様

井上 健次 様

鳥海 弘 様

金井 忠男 様

渡辺 拓治 様

上條 正仁 様

加藤喜久雄 様

(9) 締め

宴もたけなわとなりましたが、司会者の三森総務委員長長の指名により「締め」に移りました。

第一の締めの御発声は、公益社団法人移行に御尽力いただいた間嶋順一税理士、鶴田進弁護士、古川博章公益法人アドバイザーの3人の先生に、また、第二の締めは矢ヶ崎忠夫日本獣医師会専務理事にお願いし手締めが行われました。

(10) 閉会

閉会にあたり小暮一雄副会長が御参加いただいた方々に御礼を述べ、新春懇談会は午後4時30分に散会となりました。

人移行記念新



矢ヶ崎忠夫日本獣医師会専務理事により手締めが行われた

行記念新春懇



閉会の辞を述べる小暮副会長

モットーは 「命と健康は一つ」



県獣医師会（高橋三男会長）はさいたま市大宮区の清水園で6日、公益社団法人移行を記念する新春懇談会を開き、会員や来賓など約260人が参加した。

高橋会長は「昨年4月に公益社団法人としてスタートを切り、みなさまのお力添えで事業運営も順調に推移しており、感謝したい」と述べた上で、「今後も、人と動物の共生のため、『命と健康は一つ』。そして、それは地球の願い』をモットーに県民の暮らしに役立つ活動を展開していきたい」と力強く語った。写真。

懇談会では、日本獣医師会の蔵内勇夫会長と東大大学院の辻本元教授が、それぞれ「獣医師会の目指すべき方向」、「症例と飼い主のための大学動物医療センターの活用」をテーマに記念講演した。

（荒木敏行）

平成26年2月11日 埼玉新聞

広告

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理に — ペットクリーンナビ

PET CLEAN NAVI

M MORIKUBO



消臭・除菌
ウイルス除去

二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入りのお得なセット



【容 量】 各 100 mL

M 森久保薬品株式会社 神奈川県厚木市栄町 1-8-17
TEL: 046-222-2333(代)

東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881 三郷: 048-948-2112 神奈川: 046-221-0620 ツクバ: 0296-43-1661
山梨: 055-224-5278 群馬: 027-230-3322 栃木: 028-666-3399 茨城: 029-241-3131 成田: 0476-40-5811 茂原: 0475-24-1613

事務連絡

平成26年1月9日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 矢ヶ崎忠夫

狂犬病不活化ワクチンの有効期間延長及びシードロット化について

このことについて、平成26年1月6日付けの文書をもって、一般財団法人化学及血清療法研究所、日生研株式会社、株式会社微生物化学研究所及び松研薬品工業株式会社から、別添のとおり連絡がありました。貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの連絡は、①上記4社で製造している狂犬病ワクチンについて、有効期間（製造後、ワクチンを有効に利用できる保存可能期間）が2年間から3年間に延長されたこと、②シードロット製剤として承認されたことについて、本会会員に留意及び周知の依頼をされたものです。



平成26年1月6日

公益社団法人 日本獣医師会 御中

一般財団法人化学及血清療法研究所
日生研株式会社
株式会社微生物化学研究所
松研薬品工業株式会社

狂犬病不活化ワクチン 有効期間延長およびシードロット化に関するご案内

拝啓 平素より貴会には多大なご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて今般、狂犬病ワクチンの有効期間が2年間から3年間に延長され、またシードロット製剤として承認されましたので御案内申し上げます。

これにより、下記に示しました各社の製造番号より有効期間が3年間となります。

また、使用説明書に（シード）と表示されます。

本件御留意下さいますと共に、貴会会員に御周知賜りますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

製造販売社名	製造番号
一般財団法人化学及血清療法研究所	167
日生研株式会社	13-1
株式会社微生物化学研究所	172
松研薬品工業株式会社	106

25日 獣 発 第292号

平成26年 2 月 6 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会 長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生に伴う畜産関係者等への 指導の徹底について

このことについて、平成26 年 1 月17 日付け25 消安第4905 号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から別添のとおり通知がありました。貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、①韓国家畜衛生当局から、1 月17 日に全羅北道高敞（コチャン）郡の種あひる農場においてH5N8型の高病原性鳥インフルエンザの発生が報告されたこと（平成26 年1 月19 日付け参考情報も参照）、②現在、我が国は北方からの渡り鳥の飛来シーズンであり、本病ウイルスが我が国に持ち込まれる可能性が高い状況にあることから、「平成25 年度における高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の強化について」（平成25年9月19日付け25日獣発第179号）を再度確認していただき、別添の発生状況地図等を適宜活用の上、全ての家きん農家を含む畜産関係者等に対し、韓国及び近隣諸国における本病の発生状況を確実に周知するとともに、引き続き、緊張感を持って本病に関する注意喚起及び飼養衛生管理基準の遵守、発生の早期発見・通知等について指導を徹底するよう、都道府県畜産主務部長宛に通知した旨、了知の上、円滑な防疫対策の実施について、本会会員に依頼のあったものです。

なお、海外における高病原性鳥インフルエンザ等の発生状況等の必用な情報については、農林水産省のホームページ等を通じて積極的に公表するので、活用されたい旨、併せて連絡されております。

〈農林水産省ホームページ：鳥インフルエンザに関する情報〉

U R L : <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

※別添 略

予 告

西支部学術講習会のお知らせ

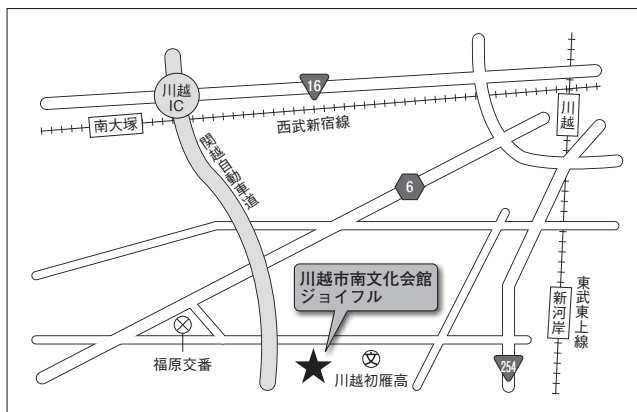
(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小3 (12))

西支部長 三森 信行

西支部では3月23日(日)に東京大学の松木直章先生をお招きして「内分泌を極める 糖尿病疾患の診断と治療のアップデート」と題して講習を行います。

年度末のお忙しいところと思われますが、多数の先生方の御参加をお待ちいたします。

日 時 平成26年3月23日(日)
13:30~16:30
場 所 川越市南文化会館 ジョイフル
川越市大字今福1295-2
TEL 049-248-4115
演 題 内分泌を極める 糖尿病疾患の診断と
治療のアップデート
講 師 東京大学 松木直章 先生
参加費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



ひろば

(公社)埼玉県獣医師会主催

ボウリング大会の開催

平成26年2月11日(火、祝日)、埼玉県獣医師会主催ボウリング大会が、スポーツ浦和国際ボウル(さいたま市)を会場に54名が参加して開催されました。

この大会は、埼玉県獣医師会の福利厚生事業の一環として初めて企画したもので、会員やご家族、賛助会員等の健康増進と親睦を目的に開催しました。

大会運営は、厚生委員会が当たりましたが、ボウリング同好会の先生方の全面的な御協力を頂きました。



開会式で挨拶する高橋三男会長
会長を挟み、左は、厚生委員会の大橋邦啓委員長、右は、司会を務めた山中利之委員

開会式

厚生委員会の山中利之委員（さいたま市支部）の司会により午後3時30分から、開会式が行われました。



開会式

大橋邦啓厚生委員長（北支部）による開会の言葉、高橋三男会長の挨拶に続き、賛助会員様からの御協賛品の紹介と競技上の注意点の説明があり、競技は高橋会長の始球式により午後4時から開始されました。



高橋会長による始球式

各賞を目指し一球入魂

老若男女54名のプレーヤーが3名ずつ18レーンに分かれ熱戦を繰り広げました。性別と年齢によりハンデキャップを設け、1人2ゲームを投球し合計点で競いました。

競技は厚生委員やボウリング同好会の先生方の円滑な運営により和やかなうちに予定通り進み、親子で参加した方々や、昔取った杵柄でフォームをチェックしながら慎重に投球する熟年世代が暫し競技を楽しみました。



熱戦が繰り広げられる

表彰式

2ゲームの投球を終えて午後5時20分から表彰式が行われ、司会者から成績が発表されました。優勝は、相川富男さん（㈱アスコ）に輝き、高橋会長から賞状と記念品が贈られました。

上位成績

		スクラッチ	ハンディ	合計
優 勝	相川富男さん（㈱アスコ）	317	120	437
準優勝	中島三恵子さん（東支部）	282	140	422
3 位	高橋雄一さん（㈱アスコ）	281	120	401
4 位	伊藤賢二郎さん（南第一支部）	298	80	378
5 位	伊藤誠一先生（衛生支部）	254	120	374
ハイゲーム	男子 新井宣明先生（さいたま市支部）	349		
	女子 布川香奈江さん（南第一支部）	332		

また、特別賞として「ハイゲーム賞」、「ブービー賞」、「ブービーメーカー賞」、「ニアピン賞」を設定しました。

「ハイゲーム賞」は男子部門で349点の新井宣明先生（さいたま市支部）が、女子部門は332点で布川香奈江さん（南第一支部）が獲得しました。

「ブービー賞」には高橋三男先生（1ゲームのみ参加のため）、ブービーメーカー賞は高野辺翔拓さん（さいたま支部）となりました。

「ニアピン賞」は「高橋会長賞」として、高橋会長のスコアの前後に最も近かった三森信行先生（西支部）と竹内繭里さん（北支部）となり、高橋会長の提供による賞品を会長自らが贈呈しました。



優勝した相川富男さん(右)と高橋三男会長(左)



「高橋会長賞」(ニアピン賞)を受賞した三森信行先生(右)と高橋三男会長(左)

飛び賞には、次の方々に記念品が贈られました。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 7位 三森信行先生（西支部） | 30位 小野愛理さん（南第一支部） |
| 10位 小峯毅先生（西支部） | 35位 井上正勝さん（さいたま市支部） |
| 15位 伊藤仕さん（さいたま市支部） | 40位 大橋邦啓先生（北支部） |
| 20位 雨海和宏さん（武蔵野ペット霊園） | 45位 高野辺智和さん（さいたま市支部） |
| 25位 小林絵梨子さん（森久保薬品株） | 50位 中島達也さん（森久保薬品株） |

終わりにあたり、中村滋副会長と小暮一雄副会長が閉会の言葉を述べ、午後6時、ボウリング大会は盛会裡のうちに幕を閉じました。

多くの方に参加いただく中、滞りなく開催することができ楽しいひと時を過ごすことができました。

開催に当たり厚生委員の先生方、また、ボウリング同好会の皆様、特に、斎藤和也会長と山中利之先生には、大会の準備、運営に大変御苦勞を頂き、ありがとうございました。

賛助会員の皆様には多くの賞品等を御協力頂くなど御支援を賜り厚く御礼申し上げます。また、お忙しい中、御参加を頂いた先生方、御家族の皆様に改めて感謝申し上げます。

新入会員の抱負

埼玉県獣医師会に入会して

東支部 荒川 久美子
(荒川動物病院)



無類の猫好き。写真は病院の猫、ハニーと。かけがえのない大切な仲間です。

昨年、埼玉県獣医師会に入会させていただきました荒川久美子（あらかわくみこ）と申します。麻布大学卒業後、都内動物病院勤務を経て父の病院である荒川動物病院に勤務、一昨年初秋に父が亡くなってからは病院を引き継ぎ現在に至ります。

父は40年間地域の獣医師として働き続けてきたわけですが、亡くなった際には患者さんをはじめたくさんの方から暖かい言葉をかけていただき、今も心の支えとなっています。

また、埼玉県獣医師会や地元獣医師会の諸先生方には大変お世話になり、心強く思いました。暖かく接して下さった皆さんに伝えていくことができるよう、日々感謝の気持ちを持って仕事することを心がけています。

私自身は埼玉で長く働いているわりに獣医師会にはほとんど知り合いもなく、どうしたものかと不安に思っていました。親切に声をかけていただき、少しずつ会員としての自覚を持ちつつあります。学術講習会などに出席する機会も多く設けられていますので、これからは積極的に出席しながら会になじんでいけたらと思っています。

皆様には何かとお世話になるとと思いますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

北支部・八日会合同学術研修会開催報告

北支部長 大橋 邦啓
八日会会長 湯本 哲夫

北支部・八日会合同学術研修会を、深谷市「埼玉グランドホテル深谷」にて1月19日(日)に開催いたしました。今回は、同支部秩父分会の三好志朗先生に「乳房炎コントロールにおける次のステップ～パルク乳モニタリングから始まる～」というテーマでご講演をいただきました。

ご参加いただきました先生方にとっては、酪農の永遠のテーマと言われている乳房炎の早期発見、予防の重要性を改めて認識し、大変有意義な研修会となったことと思います。

その後同ホテル内会場にて新年会がとり行われ、北支部の先生方、八日会会員ならびに来賓の先生方と活発な意見を交わし親睦を深めることができ、大変有意義な会であった事を報告致します。

<参加者内訳>

北支部	八日会	来賓
25名	8名	2名

平成25年度東支部新年会開催報告

東支部支部長 八木 賢裕

平成26年1月26日(日)「越谷サンシティ」におきまして東支部新年会が開催されました。

埼玉県獣医師会会長の高橋三男先生、中央家畜保健衛生所の金子文男所長、熊谷家畜保健衛生所の金子保之所長をはじめとする11名の来賓、そして支部員66名が出席され大変新年にふさわしい有意義な新年会でした。

懇親会におきましては、東支部恒例のお笑いライブ「WAHAHA 本舗」所属の「ラジークイーン」がさらに会場を沸かせ、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。

今年も東支部会員一同、団結力をもってやっていくことを確認した一日となりました。

切り抜きニュース

平成24年度獣医関係大学卒業者の就職状況調査（農林水産省）

（平成25年 5 月 1 日現在）

職種別分類		平成25年 3 月卒業者		平成24年 3 月卒業者	
		人数（うち女性）	%（うち女性）	人数（うち女性）	%（うち女性）
国	農林畜産関係	13（ 7）	1.2（ 0.7）	11（ 5）	1.0（ 0.5）
	公衆衛生関係	1（ 1）	0.1（ 0.1）	1（ 0）	0.1（ 0.0）
	その他	1（ 1）	0.1（ 0.1）	1（ 0）	0.1（ 0.0）
	小 計	15（ 9）	1.4（ 0.8）	13（ 5）	1.2（ 0.5）
都道府県	農林畜産関係	46（ 17）	4.3（ 1.6）	73（ 41）	6.8（ 3.8）
	公衆衛生関係	51（ 30）	4.8（ 2.8）	54（ 29）	5.0（ 2.7）
	その他	21（ 7）	2.0（ 0.7）	22（ 13）	2.0（ 1.2）
	小 計	118（ 54）	11.1（ 5.1）	149（ 83）	13.8（ 7.7）
市町村	農林畜産関係	0（ 0）	0.0（ 0.0）	3（ 3）	0.3（ 0.3）
	公衆衛生関係	23（ 10）	2.2（ 0.9）	34（ 16）	3.2（ 1.5）
	その他	6（ 4）	0.6（ 0.4）	4（ 2）	0.4（ 0.2）
	小 計	29（ 14）	2.7（ 1.3）	41（ 21）	3.8（ 2.0）
公務員計		162（ 77）	15.3（ 7.3）	203（ 109）	18.9（ 10.1）
独立 法人 行政	農林畜産関係	1（ 0）	0.1（ 0.0）	1（ 1）	0.1（ 0.1）
	その他、教育関係（大学教員等）	12（ 7）	1.1（ 0.7）	12（ 5）	1.1（ 0.5）
	小 計	13（ 7）	1.2（ 0.7）	13（ 6）	1.2（ 0.6）
会社	製薬・医療関係	32（ 16）	3.0（ 1.5）	35（ 18）	3.3（ 1.7）
	乳業関係	1（ 0）	0.1（ 0.0）	0（ 0）	0.0（ 0.0）
	食肉関係	2（ 1）	0.2（ 0.1）	0（ 0）	0.0（ 0.0）
	飼料関係	5（ 2）	0.5（ 0.2）	7（ 2）	0.7（ 0.2）
	実験動物関係	3（ 2）	0.3（ 0.2）	0（ 0）	0.0（ 0.0）
	その他	39（ 18）	3.7（ 1.7）	35（ 15）	3.3（ 1.4）
	小 計	82（ 39）	7.7（ 3.7）	77（ 35）	7.2（ 3.3）
農業 団体 関係	農業協同組合	9（ 0）	0.8（ 0.0）	13（ 2）	1.2（ 0.2）
	農業共済組合	68（ 32）	6.4（ 3.0）	67（ 31）	6.2（ 2.9）
	農業団体その他	1（ 1）	0.1（ 0.1）	0（ 0）	0.0（ 0.0）
	小 計	78（ 33）	7.4（ 3.1）	80（ 33）	7.4（ 3.1）
個人 施設 診療	産業動物関係	6（ 3）	0.6（ 0.3）	4（ 1）	0.4（ 0.1）
	愛玩動物関係	475（ 198）	44.9（ 18.7）	459（ 183）	42.7（ 17.0）
	産業及び愛玩動物関係	1（ 0）	0.1（ 0.0）	2（ 1）	0.2（ 0.1）
	小 計	482（ 201）	45.5（ 19.0）	465（ 185）	43.2（ 17.2）
その他	競馬関係団体	4（ 0）	0.4（ 0.0）	6（ 1）	0.6（ 0.1）
	私立学校職員 （専門学校職員を含む）	6（ 1）	0.6（ 0.1）	10（ 1）	0.9（ 0.1）
	研究機関（公益・特殊法人研究所、 特別研究員等）	8（ 6）	0.8（ 0.6）	5（ 4）	0.5（ 0.4）
	進学（含海外）	83（ 24）	7.8（ 2.3）	79（ 27）	7.3（ 2.5）
	研究生（含聴講生）	11（ 5）	1.0（ 0.5）	10（ 4）	0.9（ 0.4）
	自営（酪農家等）	0（ 0）	0.0（ 0.0）	0（ 0）	0.0（ 0.0）
	海外	2（ 1）	0.2（ 0.1）	1（ 0）	0.1（ 0.0）
	その他	4（ 2）	0.4（ 0.2）	6（ 3）	0.6（ 0.3）
	小 計	118（ 39）	11.1（ 3.7）	117（ 40）	10.9（ 3.7）
未定（求職中、受験準備中を含む）		102（ 39）	9.6（ 3.7）	119（ 59）	11.1（ 5.5）
不明		22（ 11）	2.1（ 1.0）	2（ 0）	0.2（ 0.0）
合計		1,059（ 446）	100.0（ 42.1）	1,076（ 467）	100.0（ 43.4）

（家畜衛生週報 No.3272 平成25年10月 7 日）

犬、猫10匹以上は届け出 県条例改正など56議案提案へ

県は12日、2月定例県議会に1兆7298億円の2014年度一般会計当初予算案など56議案を提出すると発表した。内訳は新年度当初予算案など予算関連21件、条例の制定や改正25件、県議補選（南2区＝川口市）に関する専決処分の承認1件、県立大学（越谷市）の中期目標の変更などの事件議決8件、第2期県教育振興基本計画の策定となっている。

条例関係では、県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する。イヌやネコ（生後90日以内のもの除く）を計10匹以上飼う人に対し、県への届け出を義務付ける。10月1日からの施行を予定している。税債権以外の徴収手続き、強制執行などの実施を定めた県債権の適正な管理に関する条例も提出する。県熊谷会館（熊谷市）の廃止も求める。

消費税率の引き上げに伴いSKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ（川口市）など県直営施設の入場料をはじめ、狩猟免許更新申請手数料、衛生試験手数料、駐車監視員資格者講習手数料などを改定するため、条例を改正する。県立小児医療センターの新病院（さいたま市中央区）の開設準備に伴い、病院局の職員を44人増員する。

期末手当は4月1日～15年3月31日まで知事が20%、副知事は10%減額。同じ期間で副部長級以上の管理職の手当を10%カットする。いじめ防止対策推進法の施行に伴い、県立学校で発生した重大事態に対応するため、調査審議会を設置できるように条例を改める。

県立大学に大学院の博士後期課程を設置するための中期目標の変更、14年度から5年間の第2期県教育振興基本計画の策定で議決を求める

埼玉新聞 2月13日

ペットにまつわる節約 （前編）

“吉本芸人ナンバーワンの節約家”と噂のユウキロックが、自ら考案した節約術を披露するこのコーナー。今週は「ペットにまつわる節約 前編～ペット保険について～」です。

僕も犬と暮らしています。犬種はポメラニアンで名前は「パンク」。先日、3歳になったばかりで困るくらい元気です（笑）。

ペットを飼われている方なら分かると思いますが、ペットにはお金が結構かかります。しかし、ペットは家族も同然。お金がかかってもできること、してあげられることを全てしてあげたいですよ。

だからこそ、うまく節約してペットと快適に暮らしましょう！

【ペット保険には入るべきなのか？】

これは僕の意見なので、あくまで参考として聞いてください。

ある有名なペット保険会社で、僕の愛犬・パンクが0歳から10年間保険に加入したとします。その総額は（継続割引などを抜きに考えると）約43万円でした。年間平均約4万3000円です。

この保険は「支払い割合50%」のプラン。これは病気などで動物病院に行き、治療費が1万円だった場合、50%の5000円を保険会社が支払ってくれるというもの。自己負担は残りの5000円で済むわけです。

ということは（嫌な言い方ですが）、10年の間に86万円分の治療を受けなければ、43万円は返ってこないことになります。

ただ、何が起るかわかりません。大きな病気にかかるかもしれませんし、かからないかもしれません…。当然、保険は掛け捨てです。

【僕はこうした】

うちのパンクの場合は、2歳まで加入していました。そして現在は加入していません。

なぜかという、最初飼いだめた時は、持病などを持っているかどうか分かりません。そこで検査を受けると「ヒザの関節が抜けやすい」ことが判明。最悪の場合「移植しなければならない」と言われました。

しかし「1%もない確率」とのことだったので、極力ジャンプさせないように心がけました。

それに、赤ちゃんのころの犬はとにかくヤンチャで悪さばかりします。何か誤飲するかもしれません。それについてももちろんしつけをしました。また、病気を防げるとのことだったので去勢もしました。

そして2歳になり、しつけも終え、ヒザや誤飲の心配もなくなったので保険を解約したのです。加入している時に保険を使ったのは1度だけでした。

治療費は4000円ほど。診断書をもらい、インターネットで請求書を送ってもらうための手続きをし、届いた請求書に口座などを記入して診断書を送付…。後日、やっと口座に約2000円振り込まれました(今はもっと楽な方法のものもあります)。

ペットの種類もあるので一概に言えないのですが、僕は「保険に加入したと思って貯金しておく」のがベストだと考えます。

これならば掛け捨てにならないですし、もし心配ならペットが高齢になってから入ってもいいのでは。保険会社によっては16歳まで加入できるところもありますからね。

【ペット保険に入るのなら】

ペットショップでペットと出会い、一緒に暮らしていくことになった場合、そのペットショップから保険を勧められると思います。

しかし、そこで入る必要はありません！というのも、そのショップと提携している保険会社を勧めてくることが多く、まず自分で保険会社を選べないのです。

今、ペット保険の会社はたくさんあります。金額や保障内容も差があります。自宅で吟味してからでも遅くはありません。

それに、最近はやりなのがネットからの加入。これだと、「インターネット加入割引」が受けられるケースがあり、費用が浮く可能性があるのです。

今回は、その他のペットにかかる経費の節約について考えます。

ユウキロック 1972年4月16日生まれ。人気コンビ「ハリガネロック」のボケ担当。第1回「M-1グランプリ」準優勝など輝かしい実績を誇る。またテレ朝系「アメトーーク」の「家電芸人」や、著書「ユウキロックの節約革命」などで儉約家芸人の顔も披露している。ツイッターは(@yuukirock0416)

東京スポーツ 1月29日

新手法で「万能細胞」理研、マウス使い成功

さまざまな組織や細胞になる能力を持つ「万能細胞」を新たな手法で作ることに、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター(神戸市)のチームがマウスを使って成功、30日付の英科学誌ネイチャーに発表した。体細胞を弱い酸性の溶液に入れることで刺激を与えて作る世界初の手法。「刺激惹起(じゃっき)性多能性獲得」の英語の頭文字からSTAP(スタップ)細胞と命名した。

同様の能力を持つ人工多能性幹細胞(iPS細胞)や胚性幹細胞(ES細胞)とは異なる簡単な作製法で、移植の際の安全性も高いとみられる。人の細胞で作れば再生医療への応用が期待される。

センターの小保方晴子研究ユニットリーダー(30)を中心とするチームは、生後1週間のマウスのリンパ球を弱酸性溶液に約30分間入れた後に

培養。2～7日目で7～9%が、多様な細胞に変わる能力を持つ細胞の塊になった。塊の大きさは50～70マイクロメートル（マイクロは100万分の1）。これがSTAP細胞で、刺激によるストレスで細胞が死にそうな状態になってできたとみている。皮膚や肺、心筋などの細胞からも作製できた。

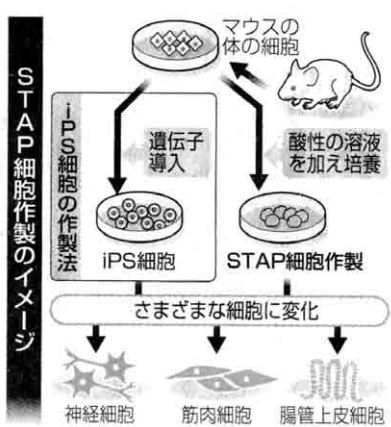
STAP細胞を培養したりマウスに移植したりすると神経や筋肉、腸管上皮などの細胞に変化。iPS、ES細胞にはない、胎盤になる能力もあった。STAP細胞から変化した細胞を全身に持つマウスも生み出した。

万能細胞 神経や筋肉、血液など体のさまざまな組織や細胞になる能力がある細胞。受精卵の一部を取り出して作る胚性幹細胞（ES細胞）や、京都大の山中伸弥教授が作製を報告した人工多能性幹細胞（iPS細胞）が代表例。iPS細胞は通

常、皮膚などの体細胞に遺伝子を導入して作る。事故や病気で失った組織や機能を修復する再生医療や創薬、病気のメカニズム解明

への応用に向け研究が進む。ES細胞は受精卵を壊すため倫理面の課題や、移植した際の拒絶反応の問題がある。iPS細胞はがん化を防ぐなど安全性の向上が課題となっている。

埼玉新聞 1月30日



平成25年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成26年2月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
5月19日(日)		南第一支部・南第二支部 「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療の限界と外科治療の可能性」 日本大学 上地正美 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
6月15日(土)～16日(日)	第86回獣医麻酔外科学会／第98回日本獣医循環器学会／第53回日本獣医画像診断学会 2013春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
8月25日(日)		北支部・八日会 「より安全で痛みのない獣医療を目指して伴侶動物の麻酔モニタリングと麻酔中の呼吸循環系異常に対する対応」 酪農学園大学 山下和人 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)	
9月8日(日)	平成25年度 関東・東京合同地区獣医師大会（群馬）獣医学術関東・東京合同地区学会 (群馬県渋川市 ホテル木暮)		
9月15日(日)		東支部 「明日からの眼科診療に役立つシリーズ 犬種別眼科疾患：ブードル・ヨークシャテリア」 どうぶつ眼科eye vet 小林一郎 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月13日(日)		東支部 「あなたは運動器疾患をどこまで診断できますか？」 日本大学 枝村一弥 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月20日(日)		北支部・八日会 「より安全で痛みのない獣医療を目指して犬猫の心肺蘇生ガイドライン～RECOVER～」 酪農学園大学 山下和人 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
11月3日(日・祝)		東支部 「皮膚病が治らない！どうしたら治るか考えてみよう」 アジア獣医皮膚科専門医 村山信雄 先生 (春日部市 春日部市商工振興センター アクシス春日部)	
11月8日(金)	北支部・八日会ほか畜産関係団体 「牛白血病ウイルス(BLV)感染症の現状と対策」 北海道大学 今内覚 先生 (本庄市 早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター)		
11月17日(日)		南第一支部・南第二支部 「よくある細胞診の見方と考え方」 日本獣医生命科学大学 皆上大吾 先生 (さいたま市 さいたま共済会館)	
11月24日(日)		さいたま市支部 「犬の慢性肝炎の診断と治療」 日本大学 坂井学 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
11月24日(日)		西支部 「眼科疾患における点眼薬の使い方」 くにたち動物病院 遠藤雅則 先生 (川越市 南文化会館)	
12月1日(日)		北支部・八日会 「ふらつきや背部痛のある動物を、どう診断し、どう治療するか？」 日本大学 枝村一弥 先生 (本庄市 本庄市児玉文化会館セルディ)	
12月12日(木)			平成25年度 「狂犬病予防対策に関する講習会」 国立感染症研究所獣医科学部長 井上智 先生 狂犬病臨床研究会会長 佐藤克 先生 (さいたま市 大宮法科大学院大学)
12月15日(日)		西支部 「猫の腫瘍の化学療法」 麻布大学 川村裕子 先生 (川越市 南文化会館)	
12月20日(金)	農林支部 平成25年度 埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成26年 1月13日(月・祝)		さいたま市支部 「リハビリテーションってどうなの？～何をどのようにして行かうか最新知見を交えて～」 日本大学 枝村一弥 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
1月19日(日)	北支部・八日会 「乳房炎コントロールにおける次のステップ」 秩父分会 三好志朗 先生 (深谷市 埼玉グランドホテル深谷)		
2月21日(金) ～23日(日)	平成25年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(千葉) (千葉市 幕張メッセ(国際会議場))		
2月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会(7日) (さいたま市 大宮ソニックシティ)		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月23日(日)		西支部 「内分泌を極める 糖尿病疾患の診断と治療のアップデート」 東京大学 松本直章 先生 (川越市 南文化会館)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | |
|---|--|
| 1月22日 「新春懇談会」開催に係る打合せ会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） | 3月3日 平成25年度文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」成果報告会（東京都渋谷区 渋谷シダックスホール） |
| 1月26日 さいたま市支部新年会（さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野） | 3月4日 日本獣医師会第13回総務委員会（東京都港区 日本獣医師会） |
| 1月26日 南第一支部新年会（さいたま市 浦和 ロイヤルパインズホテル） | 3月4日 平成25年度畜産部門成果発表会並びに講演会（熊谷市 埼玉県農林総合研究センター） |
| 1月26日 東支部新年会（越谷市 越谷サンシティ） | 3月6日 平成25年度関東・東京合同地区獣医師会連合会第3回理事会（群馬県高崎市 ホテルメトロポリタン高崎） |
| 1月29日 平成25年度埼玉県狂犬病予防協会研修会（桶川市 さいたま文学館） | 3月12日 第4回狂犬病予防委員会・第2回班長会議（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） |
| 2月6日 埼玉県獣医師会公益社団法人移行記念新春懇談会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） | 3月20日 （学）シモヅノ学園大宮国際動物専門学校卒業式（さいたま市 パレスホテル大宮） |
| 2月7日 畜産懇話会（熊谷市 ホテルヘリテージ） | 3月23日 西支部学術講習会（川越市 南文化会館） |
| 2月7日 埼玉県畜産会理事会（熊谷市 ホテルヘリテージ） | 4月20日 平成26年度第1回関東・東京合同地区獣医師会理事会・幹事会（山梨県甲府市 ニュー芙蓉） |
| 2月7日～9日 日本獣医内科学アカデミー第10回記念学術大会（神奈川県横浜市 パシフィコ横浜） | 5月1日 （予定）埼玉県獣医師会監事監査（さいたま市 埼玉県農業共済会館） |
| 2月11日 埼玉県獣医師会主催ボウリング大会（さいたま市 スポーツ浦和国際ボウル） | 6月11日 （予定）埼玉県獣医師会第66回定時総会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） |
| 2月13日 公益法人定期提出書類に関する説明会（さいたま市 さいたま市民会館うらわ） | 7月13日 平成26年度第2回関東・東京合同地区獣医師会理事会・幹事会（山梨県甲府市 ニュー芙蓉） |
| 2月19日 損害評価会家畜共済部会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 9月7日 平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会（山梨）（山梨県中巨摩郡庄和町 アピオ） |
| 2月21日～23日 平成25年度日本獣医師会獣医学術年次大会（千葉）（千葉県千葉市 幕張メッセ、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張） | |
| 2月26日 平成26年度集合狂犬病予防注射関係資材売買契約会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | |

編集後記

世界一のスポーツの祭典、冬季オリンピックが開催されています。4年に一度の決勝戦に体調を整え万全の態勢で臨むことは想像を絶する困難なことと思われます。各国の予選を勝ち抜き、大会本番で活躍する全ての選手に栄冠あれと願います。フィギュアスケートでは優勝・金メダル獲得という結果を残せた羽生選手、国民の期待を一身に受けながらメダル獲得を逃した浅田選手という両極端のドラマを目の当たりにしました。若い競技スポーツ選手の悩みの中に、競技をする『目的』と『目標』の混同があります。羽生選手は仙台出身であり震災を経験し、故郷の惨禍の中で競技を続ける意義について深く考えたそうです。競技スポーツではとかく勝つことが目的ととらえがちですが、大会での優勝は一つの目標ではあっても決して目的ではありません。競技スポーツであっても目的はあくまでも『人間形成』です。表彰式後の記者会見で羽生選手は、『今後はメダリストとして社会貢献できる喜び』を語り、人々に競技の結果以上の感動を与えてくれました。日本人として十代の若者が世界中の人々に称賛されるコメントを残せたことを誇りに感じました。一方、浅田選手は前半のショートプログラムで本人の言葉によれば『取り返しのつかない失敗』により一度どん底に落ちました。しかし、21日未明（日本時間）のフリー演技では、3回転ジャンプ6種類を含む8つのジャンプをすべて成功させ、世界最高水準の演技を披露してくれました。演技終了と同時に浅田選手とテレビの前で応援していた我々も一緒になって胸に熱い感動がこみ上げてきました。身内は『過程（プロセス）』、他人は『結果』を評価するといいます。身内である

日本国民はもとより国境を越え多くの人々が、この4年間の浅田選手の競技に打ち込む姿を応援してきたからこそ、オリンピックの晴れ舞台で世界最高の演技を披露したことに感動したのでしょう。競技生活は長い人生では限られた短い期間ですが、その人の人間形成の大事な根幹となるでしょう。応援する我々にとっても彼らの人生を応援することが自らの成長の糧となるのでしょ

う。獣医療もなかなか結果を評価することの難しい仕事です。病気の動物、飼い主そして獣医師の3者による、病気との果てしない戦いのプロセスこそが最も大切なかけがえのない瞬間です。人間を磨き学問に励み、その瞬間を至高の輝きにしたいものです。

現実にもどると、世の中は2月4日の立春を過ぎ、暦の上では春を迎えました。今春は2週連続して南岸低気圧の東進とシベリア寒気団の南下による半世紀に一度の雪害に見舞われました。県北では交通が遮断され、生活物資が不足し困窮した地域があったこと、雪害により深刻な経済的な被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。

国の経常収支や貿易収支は史上最大の赤字を記録し、政治家が吹聴するほどの景気高揚感を感じることなく、春寒を肌に感ずるこの頃でもあります。

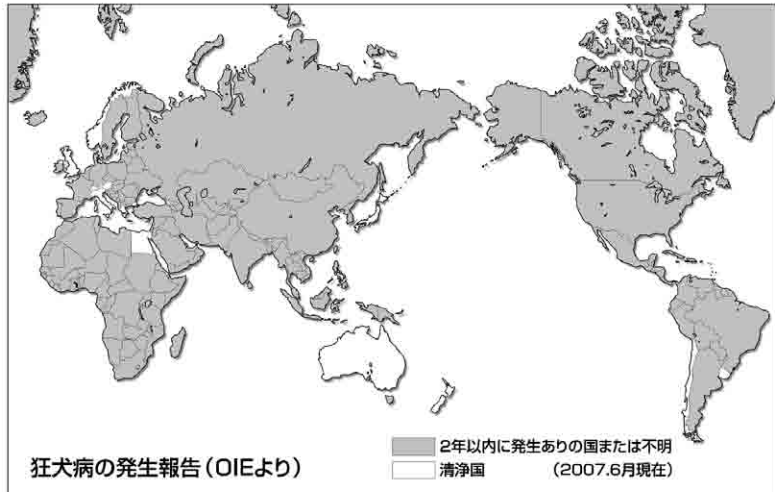
オリンピックに出場したすべての競技者から感動と元気をいただき、この国とこの国に生きるすべての動物の命を元気にしたいと改めて心を引き締める今日この頃です。会員の皆様のご健闘を心より祈念申し上げます。

（初雁）

広告

狂犬病をご存じですか？

- 狂犬病は人獣共通の伝染病です。
- 発病すると人も犬も100%死亡します。
- 今日でも多くの国で発生が見られます。
- 日本でも、平成18年フィリピンで咬傷された日本人2名が帰国後狂犬病により死亡しています。
- イギリスでは60年間無発生でしたが、輸入犬による発症例が報告されています。
- 日本での犬の輸入は、8,099頭（平成18年）にのぼっています。
- 狂犬病は犬に予防接種することによりコントロールできる病気です。



動物用医薬品 劇要指示 狂犬病TCワクチン “化血研”

製造販売 化血研 一般社団法人 化学及血清療法研究所
東京都中央区大塚一丁目6番1号 〒100-8558
本 所 ☎(03) 945-8500 (営業直通)
東京営業所 ☎(03) 3443-0177

狂犬病の予防接種は年1回です。
忘れずに受けましょう。

広告

漢方生薬17種類配合

動物用医薬品

ペットの常備薬

しんなかもりじゅういさん
新中森獣医散®

PET MEDICINE
SHIN NAKAMORI JUISAN

〔新発売〕
新中森獣医散®タブレット
(犬・猫用錠剤)

〔新製品〕
新中森獣医散®[Z]造粒散剤

犬、猫の消化器疾患、消化器衰弱、食欲不振
における症状改善。下痢における症状改善。
胃炎、消化器潰瘍、便秘、疝痛によく効きます。

包装：50g入、300g入

製薬創業1836年（天保7年）

製造販売元  **中森製薬株式会社**

宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂17880-35
宮崎テクノリサーチパーク内
URL <http://www.nakamori-seiyaku.co.jp>
E-mail nkmwebm@nakamori-seiyaku.co.jp
〒880-0303 TEL.0985-74-3337 FAX.0985-74-3420



国際特許（現在日本、中国）取得及び国際商標（日本、中国等）登録

旭化成ヘーベルハウスから 埼玉県獣医師会の皆様へ



2階、3階、4階建て住宅から賃貸住宅、さらに店舗併用、
医院併用住宅についても豊富な経験と実績の旭化成ヘーベルハウス。

代理店を通さない直接契約で土地活用、相続対策も責任をもってお手伝いさせていただきます。

新大地 [新天地]

日本の民家の原点を、「シェルター」という発想で
みつめ直した住まい。端正な寄棟の大屋根を
頂き、大地にしっかり根をおろしたような力強さを
醸し出します。



キュービック [キュービック]

丹念に作り込むことで生まれる凛とした佇まい
は街並と調和しながら、風景のようにあり続ける
住まい。



FREX [フレックス]



頑強なシステムラ
メン構造を採用。
柱だけで建ちあが
る強靱な躯体は、
自由でダイナミッ
クな空間創出を可能
にしています。2～
4階建てに対応
しています。

ヘーベルメゾン プラスわんプラスにゃん ペットと暮らせる賃貸住宅で、長期安定経営を。



ペットの飼育率は、ここ数年で全国的に高まっており、
特に都市部でその傾向が際立っています。

ヘーベルメゾンのペット共生賃貸住宅システム

「プラスわん プラスにゃん」は人とペットが暮らしやすく、
入居者間コミュニティがあり、

オーナー様と入居者が安心できる管理体制で、オ
wner様・入居者・ペット三者の満足を
最大限に満たすことを目指します。

ハード・ソフト・サービスの三位一体で、
長期安定経営を
サポートします。

HEBEL MAISON
+わん+にゃん



HARD

ALCコンクリート・ヘーベル
ハイパーフレーム構造
高耐久エクステリアパーツ群
ペット対応設備仕様

SOFT

ペット共生賃貸住宅30年一括借上げシステム
トータルプランニングシステム
ペット飼育を前提とした管理規約ルール

SERVICE

60年点検システム
ヘーベルメゾン友の会
アフターサービス、リフォーム体制
入居者間のコミュニティの提案

住まいづくりの参考になる カタログを差し上げます。

上記以外にも、お客様の理想の住まいづくり
のお手伝いになるカタログをご用意してい
ます。お気軽にご連絡ください。Eメールでも
お受けしております。

ANIMAL CLINIC 【動物病院併用住宅 実例カタログ】

ヘーベルハウスで、理想の
動物病院併用住宅を建てま
せんか？
5件の実例を写真とプランで
解りやすく紹介しています。
敷地適応力もったプラン自由
性を活かした建築。先生方の
こだわりをご覧ください。



知っておきたい!相続の勘どころ ～平成23年度新税制対応～

平成23年から相続税の
内容が変わります。
相続税の計算方法から
手続き、また相続税の
節税対策や遺産分割の
方法などをわかりやすく
解説しています。



旭化成ヘーベルハウスに関してのお問い合わせ、
またカタログをご希望の方は下記までご連絡をお願いいたします。

☎ 0120-883-627 (担当:土生津 はづつ) E-mail:habutsu.sb@om.asahi-kasei.co.jp

旭化成ホームズ株式会社 埼玉総合第一支店 〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-10-1 ラムザタワー7F

ACTY



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに
牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした
動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。
20世紀は抗生物質の時代、
21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、
健康に関する考え方も大きく変化してきています。
私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、
ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な
生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>



生命をのせて回る地球に、潤い豊かな未来を届けたい。

株式会社 **アスコ** <http://www.asco.sala.jp>

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021 愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

**営業所
所在地**

・東北支店	仙台、古川、福島
・関東支店	児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
・CA支店	大阪、京都、名古屋、東京、大宮
・中部支店	豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜
・中国支店	広島、福山、山口、岡山、米子